



第19期 中間報告書

平成22年4月1日～平成22年9月30日

Sodick Plustech
BUSINESS REPORT 2010

株式会社 ソディック プラステック

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第19期中間(平成22年4月1日から平成22年9月30日)報告書をご送付申し上げます。

中間配当金につきましては、前年度末最終損益が赤字となり、企業体質強化のため、株主の皆様には誠に申し訳なく存じますが、無配とさせていただきました。

尚、期末配当につきましては復配を予定いたしております。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月
代表取締役社長 藤川 操



Sodick Plustech

CORPORATE PHILOSOPHY



2010 未来を創造し、未来を育み、世の中へ貢献し続ける

当期の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国による需要の増加、景気対策効果等により、緩やかな回復基調をたどりましたが、急激な円高をはじめ、物価の下落傾向等、依然として先行き不透明な状況のもと推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、大型導光板製作に対応した射出成形機 TR650 を完成し、更なる大型機の製作に着手いたしました。また、IPM モータとモータドライバーの開発を行い、中国、廈門工場に生産ラインを立ち上げました。

食品機械関連におきましては、茹槽・水洗槽をより安定的に自動洗浄するシステム等を開発、製品化いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は75億57百万円となりました。

これらを事業のセグメント別にみますと、

- 射出成形機関連事業につきましては、国内向けでは政府のエコカー減税や補助金の影響で自動車業界の受注が伸び、電子精密部品業界の受注も堅調に推移いたしました。海外向けにおきましては、アジア地区では韓国、台湾でのLED部品関係及び電子精密部品業界等の受注が伸び、当第2四半期の連結累計売上高は51億49百万円となりました。
- モーション関連事業につきましては、液晶製造関連業界の検査装置向け等の精密ステージの受注が順調でモータ等の売上も堅調に推移し、当第2四半期の連結累計売上高は、9億61万円となりました。

- 食品機械関連事業につきましては、大手食品メーカーからの製麺プラントの受注は順調に推移いたしておりますが、競合他社との販売競争は続き、当第2四半期の連結累計売上高は14億46百万円となりました。

一方利益面につきましては、連結営業利益3億91百万円、連結経常利益は2億90百万円、四半期純利益は3億28百万円となりました。

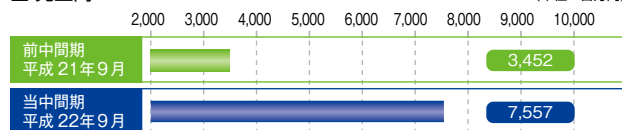
当社グループを取り巻く企業環境は厳しい状況が続くものと思われませんが、積極的な受注活動、生産効率の向上および経費削減に努め、今後とも利益確保に尽力してまいります。

尚、当社は平成22年10月1日をもって株式分割を行い、1株を1,000株に分割し、単元株式数を100株にしております。

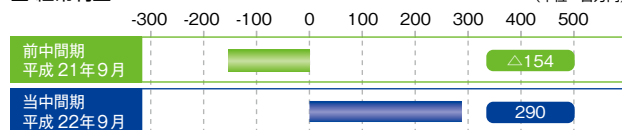
連結業績の推移等

□ 連結業績の推移 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

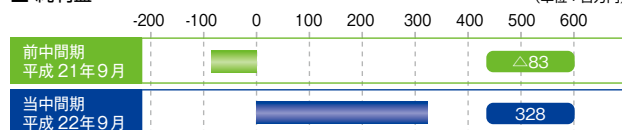
■ 売上高 (単位：百万円)



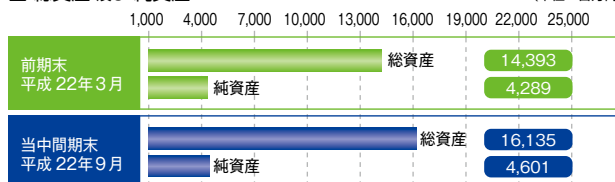
■ 経常利益 (単位：百万円)



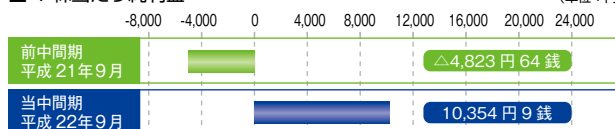
■ 純利益 (単位：百万円)



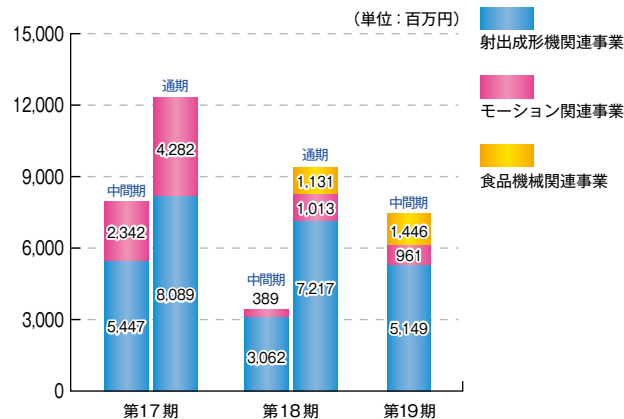
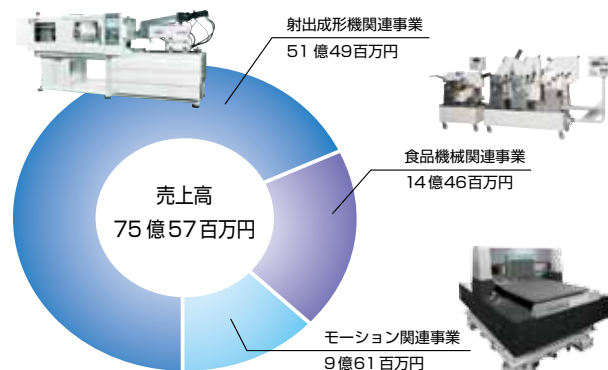
■ 総資産及び純資産 (単位：百万円)



■ 1株当たり純利益 (単位：円)



□ セグメント別売上高



第2四半期連結財務諸表（要約）

□ 連結貸借対照表

単位：百万円

科目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,985	8,897
現金及び預金	2,214	2,362
受取手形及び売掛金	4,948	3,809
製品	720	343
仕掛品	1,341	1,042
原材料	1,353	988
その他	416	359
貸倒引当金	△ 9	△ 6
固定資産	5,150	5,495
有形固定資産	4,234	4,201
無形固定資産	802	730
投資その他の資産	113	563
資産合計	16,135	14,393

科目	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前期 (平成22年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	8,661	6,813
支払手形及び買掛金	5,055	3,315
短期借入金	1,400	1,400
一年以内返済予定の長期借入金	1,180	1,241
未払法人税等	77	28
その他	947	828
固定負債	2,872	3,289
負債合計	11,533	10,103
純資産の部		
株主資本	4,629	4,299
資本金	2,873	2,873
資本剰余金	1,298	1,298
利益剰余金	456	127
評価・換算差額等	△ 28	△ 10
新株予約権	—	0
少数株主持分	0	—
純資産合計	4,601	4,289
負債純資産合計	16,135	14,393

□ 連結損益計算書

単位：百万円

科目	当中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,557	3,452
売上原価	6,073	2,882
売上総利益	1,483	570
販売費及び一般管理費	1,092	652
営業利益	391	△ 81
営業外収益	45	58
営業外費用	146	130
経常利益	290	△ 154
特別利益	46	98
特別損失	9	25
税金等調整前四半期純利益	327	△ 80
法人税、住民税及び事業税	58	8
法人税等調整額	△ 56	△ 5
法人税等合計	1	2
少数株主損失 (△)	△ 3	—
四半期純利益	328	△ 83

□ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

科目	当中間期 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	前中間期 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動による キャッシュ・フロー	300	868
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 46	△ 28
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 567	631
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 10	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 324	1,474
現金及び現金同等物の期首残高	2,362	1,981
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	176	—
現金及び現金同等物の 四半期末残高	2,214	3,456

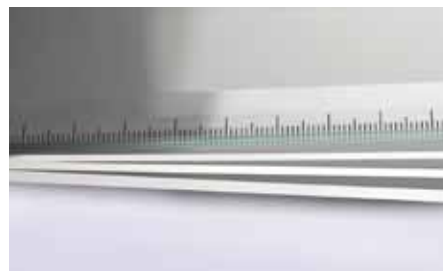
開発新製品

薄肉導光板専用コンプレッション成形機

TR450EH2W TR650EH2

パソコンや液晶 TV などのエッジライト型の薄肉導光板専用のコンプレッション成形機 TR450EH2W(450 トン)と TR650EH2(650 トン)の 2 機種を製品化しました。

薄肉導光板成形において、従来のインジェクション法では、残留応力が発生し、成形品の歪やパターン転写の不良が生じやすい成形品です。新開発した「SPT コンプレッション成形法」では、キャビティを広げて、低い圧力で充填し、キャビティ全体を押すことで、歪を抑え、均一なパターン転写ができます。これにより、成形品のショット間の厚さバラツキは同一箇所でも $10\mu\text{m}$ 以下に抑えることができます。また、樹脂量も低減でき、サイクルタイムを向上できるほか、金型も小型化でき、金型費用の削減にもつながります。機械本体も型締めトン数の削減で成形できるので、省スペース化も図れます。当社が従来から提言しておりますエコ成形技術を実現化した成形機です。



導光板断面写真 1.4、1.6、2.5mm



ONLY FOR LARGE SIZE THIN W
LIGHT GUIDE PLATE
COMPRESSION
INJECTION MOLDING MACHINE

□ モーション関連事業 Motion

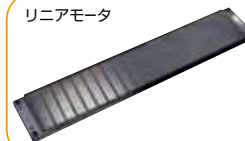
発熱を抑えた独特な内部構造を持つ高精度リニアモータをはじめ、一般産業用に使用される回転モータの製造、販売を開始しました。当社で開発した回転モータは独自の磁石埋め込み構造により、省エネで高効率の特徴のIPMモータで、またそれらを駆動させるために必要なモータドライバやCNC装置など、機械設備に必要なコア技術をご提供致します。



XYステージ



リニアモータ



コントローラ基板



安定した生産体制と新興市場へのさらなる拡販

中国・廈門市に設立した子会社にリニアモータ、IPMモータなどの生産を集約しました。また、今やモータに不可欠となったネオジウム磁石をはじめ、各製品部材の中国国内での調達ルートを持ち、高精度で安価な製品を供給する体制も確立しました。さらに、グループの工作機械に組み込んでいたリニアモータ、IPMモータなどを新興市場の開拓、拡販を推し進めて更なるグローバル化をめざします。



中国廈門工場：正面



中国廈門工場：全景



モータ生産ライン

トピックス

□ 食品機械関連事業 Food Machines

安全で安心で健康なおいしい食文化の創造

TOM 事業部は、日本の製麺装置のトップメーカーです。TOM の製麺装置は、大手食品メーカーからコンビニエンスストアの調理麺工場など、多くの食品工場で活躍しています。私たちは、おいしい食品を効果的、効率的に生産する食品製造設備を通じ、安全・安心な食品づくりを使命として、食文化の発展に貢献しています。



自動洗浄機能付き最新鋭ゆで麺製造装置
CIP 全自動ゆで麺装置

麺のゆで上げから水洗冷却の工程まで、すべてパネル構造でインライン化されていますので、製造中の製品を外部の汚染から守り、生産後の装置の清掃は周囲の環境を汚すことなく自動洗浄ができます。

特許第 3193899 号



連続延べ打ち製麺機
DDM (ダイレクトドライブローラ)

製麺の完全自動化を実現させた自動製麺装置です。ダイレクト駆動方式の採用により、従来の製麺機につき物であったチェーン機構やグリスが不要となり、衛生面での向上が得られ、「食の安全」を提供しています。



展示会出展

□ JIMTOF2010 - 第 25 回日本国際工作機械見本市 -

2010年10月28日から11月2日までの6日間、東京ビッグサイトで開催されました。世界22カ国・地域から合計814社が出品し、来場者数114,558名を超える盛大な展示会となりました。ソディックプラスチックはソディックとの共同展示を行い、導光板金型・導光板の展示をはじめとして、IPM モーター、リニアモーター、次世代 CNC 装置など、生産性の向上や工場のエコ化に貢献する商品や新機能を多くの来場者にご覧いただき好評でした。

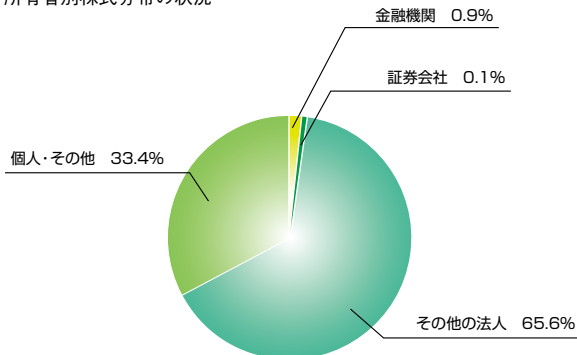


株式の状況・会社の概要

□ 株式の状況（平成22年10月1日現在）

発行可能株式総数	55,088,000 株
発行済株式総数	31,758,000 株
株主総数	1,417 名

所有者別株式分布の状況



大株主の状況

株主名	持株数 / 株	議決権比率 / %
株式会社ソディック	20,444,000	64.3
鈴木 正昭	1,020,000	3.2
古川 利彦	1,000,000	3.1
ソディックプラスチック栄光持株会	808,000	2.5
大迫 健一	500,000	1.5
乾 弘明	352,000	1.1
藤巻 繁	300,000	0.9
ソディックプラスチック従業員持株会	298,000	0.9
関 陽一	209,000	0.6
佐野 定男	200,000	0.6
市川 剛志	200,000	0.6

※ 1. 平成22年10月1日付で株式分割を行い、1株を1,000株に分割しております。
 ※ 2. 平成22年10月1日付で単元株式数を100株にしております。

□ 会社の概要（平成22年9月30日現在）

商号	株式会社ソディックプラスチック
設立	平成4年7月29日
資本金	28億7,388万円
主な事業内容	射出成形機及びその他周辺機器の開発・製造・販売 精密ステージの販売、並びに食品加工機械及び関連 機器の開発・製造・販売
従業員数	334名（子会社への出向者を含みます）

加賀本社



□ 役員（平成22年9月30日現在）

取締役相談役	古川 利彦	取締役	吉岡 洋二郎
代表取締役会長	鈴木 正昭	取締役	神野 久彦
代表取締役社長	藤川 操	取締役	大熊 正樹
取締役副社長	大迫 健一	取締役	水上 裕司
専務取締役	山本 孝志	取締役	谷口 一芳
専務取締役	藤巻 繁	取締役	元矢 享嘉
専務取締役	佐野 定男	取締役	江戸屋 勝義
常務取締役	市川 剛志	取締役	新家 一朗
常務取締役	河本 朋英	取締役	神谷 尉太郎
取締役	牧崎 利郎	常勤監査役	宮地 嘉寿夫
取締役	吉田 伸一	監査役	廣崎 厚生
取締役	北村 重臣	監査役	島村 和也
取締役	西 耕平	監査役	保坂 昭夫

※ 1. 取締役相談役 古川利彦は社外取締役であります。
 ※ 2. 監査役 宮地嘉寿夫、島村和也及び保坂昭夫は社外監査役であります。

□ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときには、 あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都中央区八重洲二丁目3番1号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(インターネット ホームページ URL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/ service/daiko/index.html

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会には口座のある証券会社宛にお願いいたします。

証券会社に口座を開設されていない株主様は上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の照会先をお願いいたします。

公告の方法	当社ホームページに掲載する。 http://www.plustech.co.jp
上場証券取引所	大阪証券取引所 (JASDAQ 市場) (証券コード: 6401)



株式会社 ソディック プラステック

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台3-12-1
TEL:045-948-1405 (代表)

